

月刊 人材ビジネス 2015年3月号

**アソウ・ヒューマニーセンター
障がい者職場定着セミナーを開催**

アソウ・ヒューマニーセンター（福岡・福岡市、中島彰彦代表取締役）は、2月23日、エル・おおさか（大阪市）で「障がい者職場定着セミナー」を開催した。約20人の企業の人事担当者が参加。700名以上の障がい者雇用・キャリア形成支援を行ってきたキャリア・アコンサルタント二見武志氏が講師を勤めた。参加者は障がい種別ごとの特性、成功事例などに耳を傾け、人材交流会でも活発な情報交換が行われた。

全国各地で障がい者就労支援の公共事業業務委託を受けている同社は、2008年より「採用」「定着」とフェーズを分けてセミナーを開催しているが、回を追うごとに中小企業の参加が増えていると言う。二見氏は、「雇用の裾野が広がるにつれ、『離職者が出る』『現場の理解が醸成されない』といった課題も浮かあがってきています。『障がい者』と一括りにせず、一人ひとりに向き合い職場定着を実現するためには、意識変革に加え、知識やノウハウも必要です。当社が蓄積したノウハウをセミナーや冊子等で提供すると共に、就労現場で支援にあたる『職場サポーター』の養成にもさらに力を入れ、企業が『障がい者を雇用し続ける力』を養うサポートができればと考えています」と意欲を見せた。